

紀の川河川整備計画について

第3編

(遊水地の検討)

平成14年11月18日

近畿地方整備局

目次

第3編

1. 遊水地の事例
2. 遊水地検討の流れ
3. 前回までの遊水地検討の整理
4. 遊水地候補地の現状
5. 遊水効果の検証
6. 遊水地計画の検討

1. 遊水地の事例

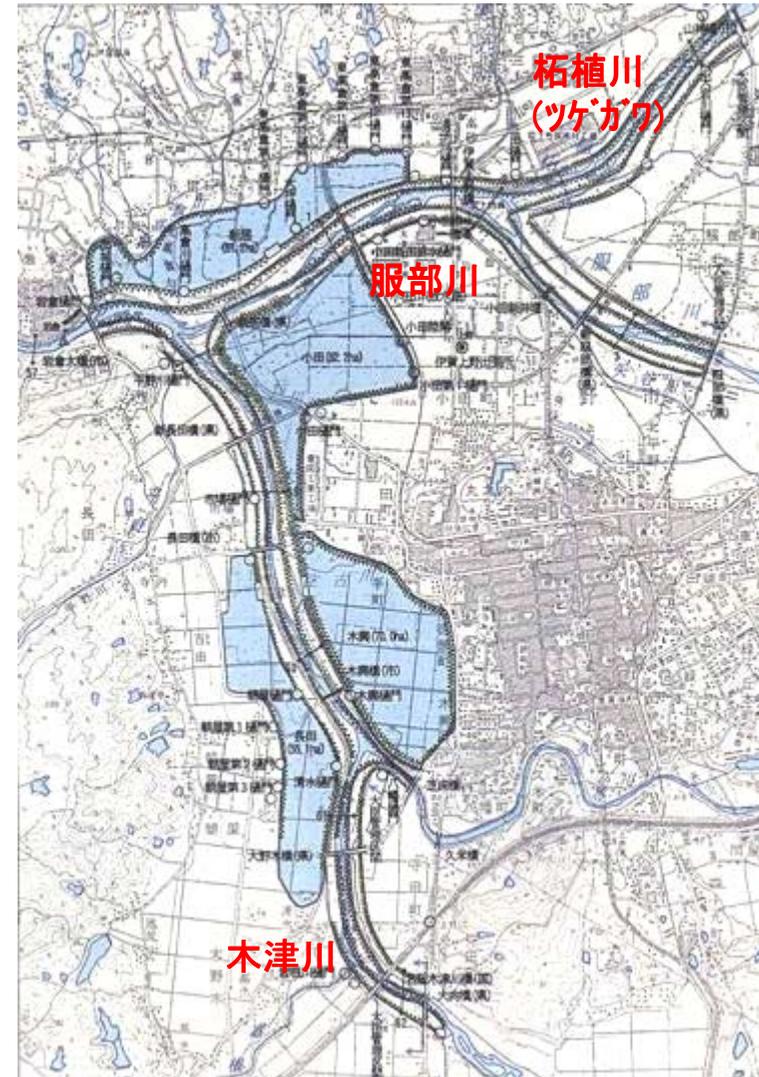
● 上野遊水地(木津川上流)について

上野遊水地(木津川上流)は、三重県上野市の木津川上流部に位置する約250haの遊水地です。

従来より上野盆地に常習的な湛水被害を及ぼしている湛水域540haのうち、約250haの区域を遊水地として計画されたものである。また、上野遊水地の洪水調節量は、木津川の遊水地直下の基準地点(島ヶ原)の100年確率規模の洪水 $5,800\text{m}^3/\text{s}$ (基本高水流量)に対し、 $900\text{m}^3/\text{s}$ (川上ダムと合わせて $1,300\text{m}^3/\text{s}$)をカットする計画である。

▼ 遊水地諸元

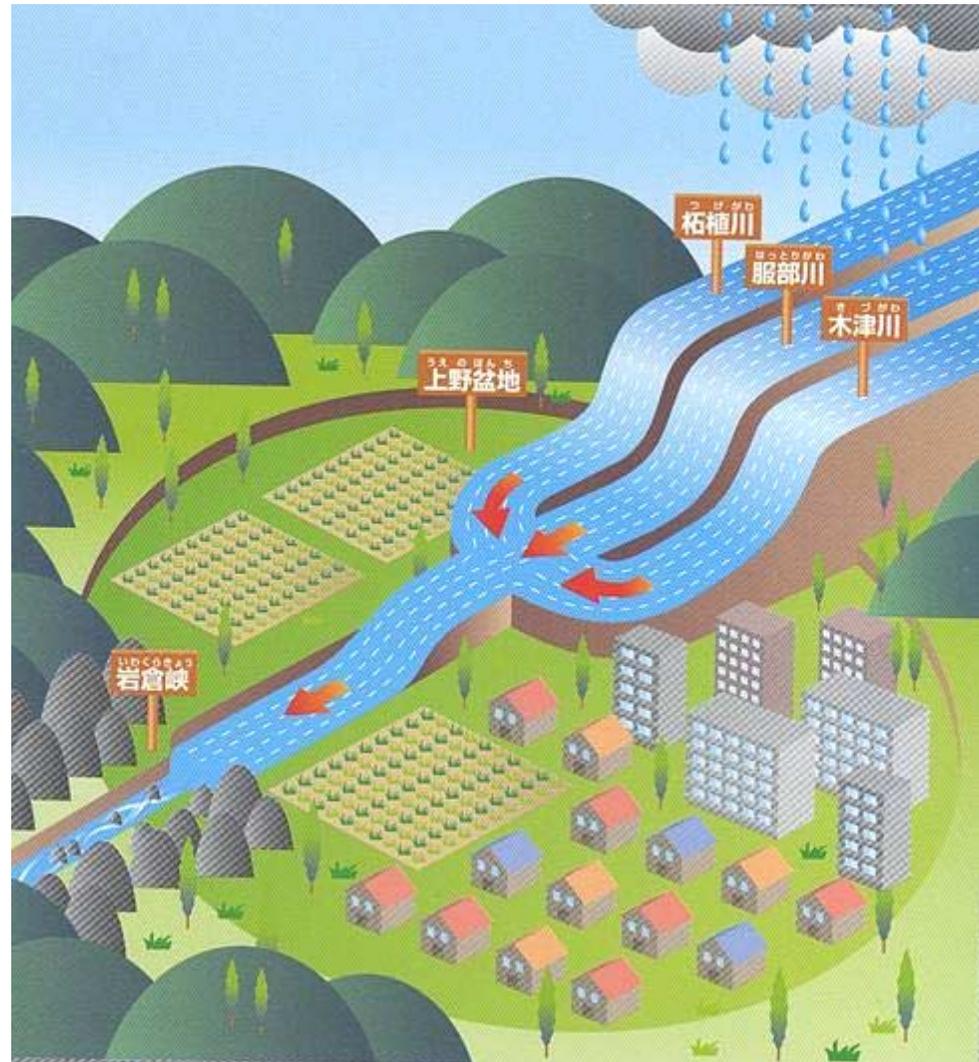
諸元		遊水地面積 (ha)	湛水容量 (万m^3)	備考
河川名	遊水地名			
木津川	長田遊水地	55.1	172	HWL. TP+137.32
	木興遊水地	70.0	242	
服部川	新居遊水地	61.2	206	HWL. TP+137.06
	小田遊水地	62.2	280	
計		248.5	900	



上野地区(木津川上流)の特徴

上野遊水地は、常習的な湛水被害を受ける上野盆地にあって、戦後最大の湛水域540haのうち、約250haの区域を遊水地として計画されており、以下のような特徴がある。

- ・浸水頻度が高い
- ・低く平らな盆地
- ・遊水地下流が狭窄部
- ・3つの川の合流地点
- ・約1.5m程度の地盤沈下(過去の地震による沈下)

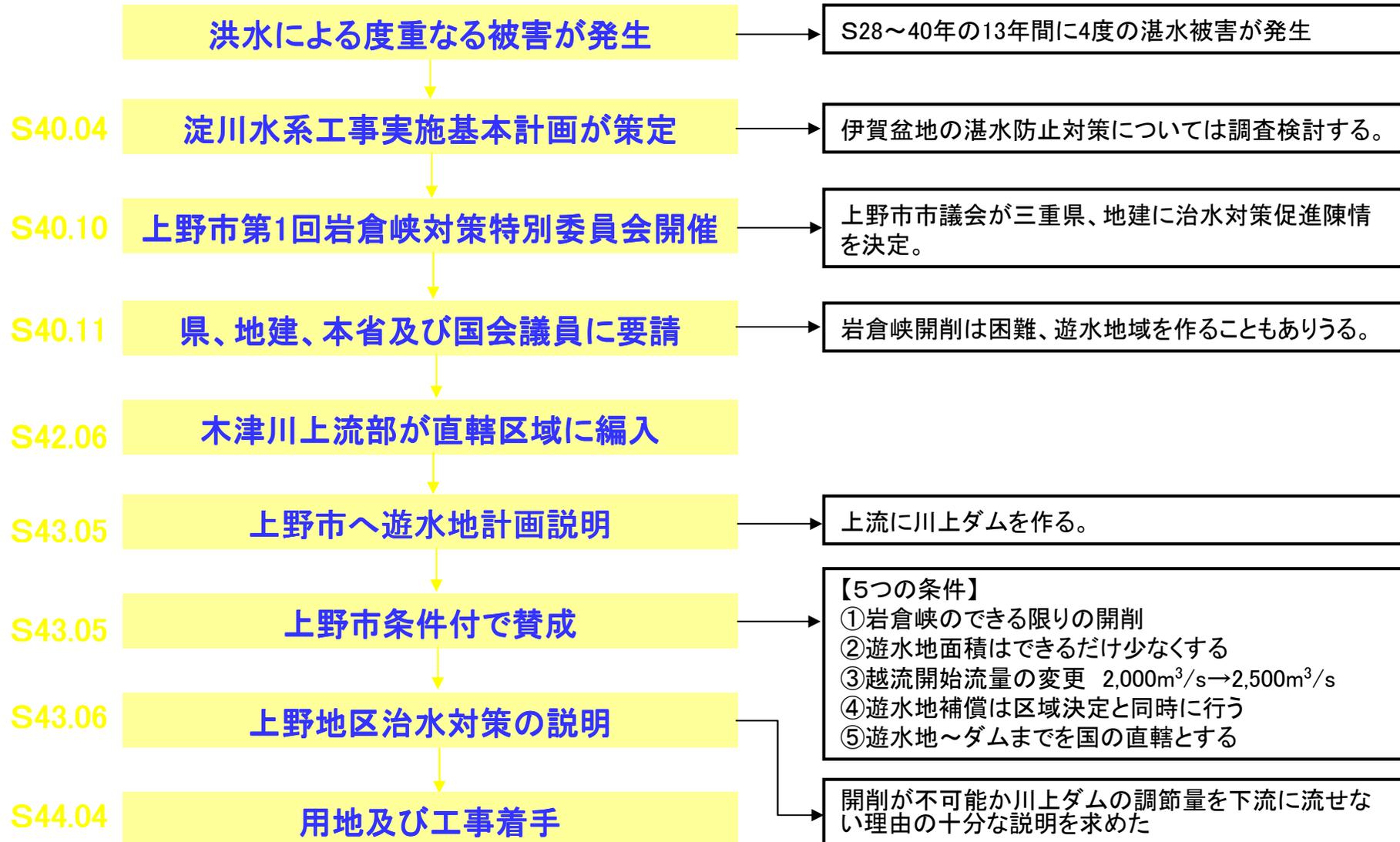


上野地区の戦後の主要出水

上野地区(木津川上流)の戦後の主要出水は、以下のとおりです。

年月日	湛水量 (万m ³)	湛水面積 (ha)	浸水戸数 (戸)	被害額 (百円)	2日連続 雨量 (mm)	備考
S28.9.25	1,610	540	200	2,887	301	台風13号
S34.9.26	1,550	535	195	513	340	伊勢湾台風
S36.10.28	1,270	510	140	914	312	前線豪雨
S40.9.17	1,070	505	35	388	231	台風24号
S57.8.1	1,070	505	36	549	233	台風10号

上野遊水地事業着手(木津川上流) に係る経過事項等



●一関遊水地について

一関遊水地は、岩手県南部の北上川中流部に位置する1,450haの遊水地です。

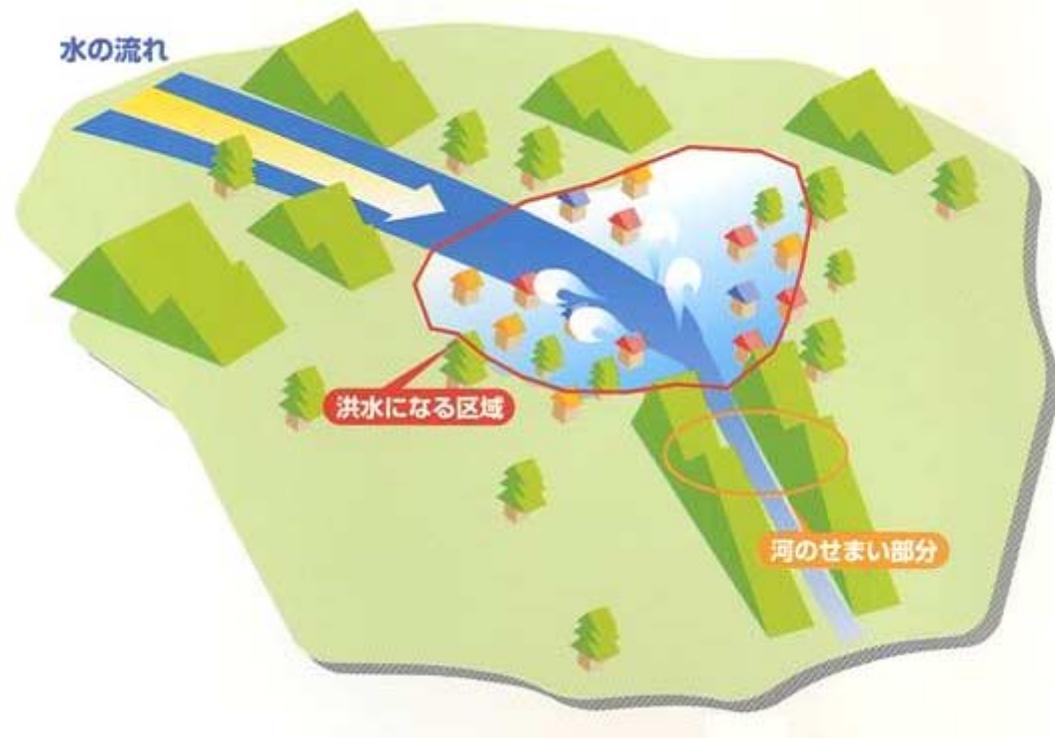
この遊水地は、昭和22年9月のカスリン台風、昭和23年9月アイオン台風を契機に計画された遊水地です。また、一関遊水地の洪水調節量は、北上川の基準地点の100年確率規模の洪水13,000m³/s(基本高水流量)に対し、1,900m³/sをカットする計画となっています。



一関地区の特徴

北上川の一関地区周辺は、有名な水害常襲地帯である。毎年のように被害を被っている地域であり、遊水地として計画されている地域は、以下のような特徴がある。

- ・遊水地下流が狭窄部
- ・河川勾配が緩い
- ・浸水頻度が高い



一関遊水地事業に係る経過事項等



←北上川治水事業
計画地元発表



遊水地事業への→
反対活動



←一関遊水地起工式



排水機場暫定→
通水式